



社会教育便り

平成30年度 幡多地区婦人大会・宿毛市婦人大会

1月29日(火)に幡多6市町村から約140名の婦人会員、地域住民、幡多地区社会教育関係者が集まり、「平成30年度 幡多地区婦人大会・宿毛市大会」が宿毛文教センターで開催されました。

この会は、「あつまろう！育てよう！～幡多に羽ばたく婦人の輪～」をテーマに「婦人会も自己を高め、『いのちの絆』を結び合って更なる行動を起こそう」を趣旨とし、開催しています。

開会行事の後、宿毛市立宿毛歴史博物館 館長 矢木 伸欣 氏より「宿毛の林有造と林邸」と題し講演をしていただき、午後からは6市町村のレクリエーションで大いに盛り上がりました。その後、「林邸」と「歴史館」を見学しました。宿毛市の歴史を知り、改めて人物や地域に興味関心を持つことで、新たな気づきを持つことができました。林邸を通して、人と人が交流するコミュニティの大切さを改めて感じる事ができたのではないかと思います。

会場準備から運営に至るまで柿部会長をはじめ、宿毛市連合婦人会の皆様、役員の皆様には大変お世話になりました。

矢木館長の講演では、「林有造は逓信、農商務大臣等内閣大臣を歴任し、政界を引退後は片島港を開発するなど故郷の発展に尽力した。また、林邸には、熱い志を持った若者が集う場所であった。それは、人を育てる場所という意図を持って設計されていた。」と話された。また、林有造に関わる偉人たちについても分かりやすく話をいただきました。



宿毛歴史館では、歴史展示室や町並み模型、町並みに合わせてビデオが上映されている。野中兼山など宿毛に関わる人物や物事をそれぞれ5分から2分ほどにまとめて作成されている。



林邸は、1階から2階へ通じる隠階段や訪問者が分かるように玄関上の2階に高床の和室が設けられている。明治の政治家は襲われる危険があったので、様々な状況を想定して生活を送っていた。そこから時代背景を感じることができる。

レクリエーションでは、6市町村の婦人会の皆様が、衣装や踊りなど工夫を凝らし、会場が華やかな雰囲気になりました。

